

## 委員会等の会議録

1 会議名	令和6年度愛南町介護保険運営協議会	
2 議題	(1) 愛南町介護保険事業の推移と他保険者との比較について (2) 介護保険事業計画の進捗管理について (3) 介護保険事業の円滑な運営について (4) その他	
3 開催日時	令和6年12月19日(木) 18時30分から20時15分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁3階 大会議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	児島 一夫、伊藤 孝徳、那須 英治、森岡 眞由美、 埜々下 義久、宗田 清昭、徳永 勝美	
7 担当所属	所属名	高齢者支援課
	担当職員 (職・氏名)	課長 大間知 伸一 主幹 倉野 豊成 課長補佐 山本 正浩 主査 田中 志子
8 その他の 出席職員	所属名	地域包括支援センター
	担当職員 (職・氏名)	所長補佐 石井 ゆかり 所長補佐 森口 弘喜
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
山本課長補佐	<p>令和6年度介護保険運営協議会を開催します。</p> <p>この会議は、住民参画推進条例に基づき、公開されるとともに、本日の会議録は、後日ホームページにて公開しますので御了承願います。</p> <p>それでは、大間知高齢者支援課長から御挨拶申し上げます。</p>
大間知課長	(開会挨拶)
山本課長補佐	<p>それでは、新しい委員もいらっしゃいますので、順番に自己紹介をしていただきたいと思います。</p>
委員一同	(自己紹介)
山本課長補佐	<p>続きまして、「会長選出」です。会長選出は「愛南町執行機関の附属機関設置条例施行規則」第3条第1項の規定により、委員の互選により選出となっています。</p> <p>事務局案として、那須英治委員を推薦したいと思いますが、委員の皆様、御賛同していただいてよろしいでしょうか。</p>
委員一同	(異議なし)
山本課長補佐	<p>ありがとうございます。それでは、那須英治委員が愛南町介護保険運営協議会会長と決定しました。那須会長、会長席へ移動してください。</p> <p>那須会長、一言、御挨拶をお願いします。</p>
那須会長	(会長挨拶)
山本課長補佐	<p>愛南町執行機関の附属機関設置条例施行規則第4条の規定により会長が議長となりますので、これからの議事につきましては、那須会長が議長となり進めていただきます。那須会長、よろしく申し上げます。</p>
那須会長	<p>それでは議事に移ります。</p> <p>議題1「愛南町介護保険事業の推移と他保険者との比較について」事務局から説明をお願いします。</p>

発言者	発言内容
山本課長補佐	(愛南町介護保険事業の推移と他保険者との比較について説明)
那須会長	愛南町介護保険事業の推移と他保険者との比較についての説明が終わりました。御意見、御質問等ありましたらお願いします。
伊藤委員	町内全体のグループホームの定員は、12月末で「グループホームわたしの青空」が閉鎖されるため、18人減になりますね。
山本課長補佐	1ユニットで運営していたので、9人減でグループホームとしては定員90人となり、全体では450人が定員となります。
伊藤委員	2ページの令和2年度の愛南町の人口は「20,586人」で、1ページの2022年の人口は「19,601人」とあります。これは抽出月で数値に違いが出ているのでしょうか。
山本課長補佐	1ページの数値は国勢調査、2ページの数値は介護保険状況報告から抽出しています。抽出方法の違いが数値の差となっています。
伊藤委員	令和4年度に実施した介護保険運営協議会資料では、2020年の愛南町の人口は「19,657人」とあります。過去の数値が変わることがあるのでしょうか。確認をお願いします。
山本課長補佐	確認します。
宗田委員	先ほど事務局から議題1について説明いただきましたが、意図は何でしょうか。
山本課長補佐	愛南町の現状を見ていただく形で、まずは愛南町の人口推移から第1号被保険者の占める割合を御確認いただきます。あわせて、県内自治体と比較しました。次に、愛南町の第1号被保険者数に占める認定者数を割合でお示しし、県内自治体との比較を行いました。

発言者	発言内容
宗田委員	介護保険の保険者とそれ以外の保険者との比較というのはどういう意味でしょうか。
山本課長補佐	県内自治体の保険者との比較になります。
宗田委員	若い方の保険との比較ではないのですね
山本課長補佐	介護保険における比較になります。
宗田委員	後から説明があるかもしれませんが、数値の推移は計画どおりなのでしょうか。
山本課長補佐	後ほど、計画に対しての評価を説明します。
森岡委員	事務局から順番に説明があると思いますので、まずは聞きましょう。
那須会長	そのほかに質問はありませんか。ないようですので、次に議題2「介護保険事業計画の進捗管理について」事務局から説明をお願いします。
山本課長補佐	(介護保険事業計画の進捗管理について説明)
那須会長	介護保険事業計画の進捗管理についての説明が終わりました。御意見、御質問等ありましたらお願いします。
伊藤委員	自己評価の表に「現状」「数値目標」「実績」とありますが、「現状」とは何を指していますか。令和6年度のことでしょうか。
山本課長補佐	「基準値」になります。
伊藤委員	「未把握」とは何でしょうか。
山本課長補佐	第8期介護保険事業計画策定時、基本目標に関するアンケートを取れていなかったため「未把握」となりました。

発言者	発言内容
伊藤委員	基準値とは何ですか。誰がどのように決めた数値でしょうか。
那須会長	基準値を抽出した年度のばらつきについても教えてください。
山本課長補佐	8ページの表に基準値を記載しています。アンケートや調査を行った年度が違うため、そのような表現となっています。
宗田委員	基準値というものは、同じ年度に抽出した数値を用いるべきだと思います。項目によって抽出年度に違いがあるのはどういった理由でしょうか。
森岡委員	長年委員をしています。中長期的なデータを基に基準値を決めているのではないのでしょうか。
山本課長補佐	計画策定に当たって、ニーズ調査や、医療・介護従事者を対象としたアンケートを実施しました。実施したタイミングの違いが抽出した基準値の年度の違いとなっています。国が示す基準値というものがあれば、ほかの自治体との比較等をする上で分かりやすいと思いますが、自治体によって、人口規模や高齢化率等に違いがあるため、基準値については愛南町の現状の値を用いています。
宗田委員	基準値を設定した年度が違うのは、評価しやすい数値を抽出した年度を選択したのではないのでしょうか。
山本課長補佐	そのようなことはありません。調査年度が違うためです。
宗田委員	直近の新しい数値が基準値となっているのでしょうか。現在まで調査は行っていないのでしょうか。
大間知課長	記載の基準値は第8期介護保険事業計画になります。令和3年度から令和5年度までの計画を令和2年度に策定しましたので、その時点で最新の数値を用いています。
宗田委員	本来ならば、同じ年度の基準値を用いた方が良いでしょう。

発言者	発言内容
石井所長補佐	<p>か。ばらつきがあっても良いのでしょうか。</p> <p>この計画を策定するに当たって、アンケートを実施した時点で、基本目標4に対する成果指標が項目に盛り込まれていなかったため、未把握となっています。また、一部の成果指標は令和2年度事業の中で集計したデータとなります。ニーズ調査については、対象規模が大きく毎年度の調査が困難なため、このような形での抽出となっています。</p>
伊藤委員	<p>表の分析方法について、目標値に対する現状値の達成状況ということでしょうか。</p>
山本課長補佐	<p>まずは現状を参考に目標値を設定します。その目標値に対して調査をした実績値の達成状況となります。</p>
伊藤委員	<p>なぜ現状値よりも高い目標値に設定したのでしょうか。</p>
宗田委員	<p>現状より全て高いですね。</p>
森口所長補佐	<p>指標1を例に挙げますと、令和元年度で抽出しました基準値に対して、令和5年度までの3年間で割合を上げていきましようという形になります。当然、高い方が良い数値ですので、計画策定時に目標値を「70.0%」に設定しました。結果はどうだったかということ「63.4%」でしたので達成率は「91%」だったということになります。</p>
伊藤委員	<p>目標を「70.0%」とした根拠は、「これくらいは上げていきたい」ということでしょうか。</p>
森口所長補佐	<p>計画策定時に委員会での協議を経て決定していますので、手元の資料では決定の流れまでは把握していません。</p>
大間知課長	<p>現状に対しての目標値を設定した根拠については、ここではお答えできません。当然、数値が上がれば良いのですが、数値の意図となると資料を持ち合わせていません。</p>
伊藤委員	<p>分かりました。</p>

発言者	発言内容
宗田委員	現状に対して、全て高い目標となっていますが、「良くしよう」という思いが数値に表れているのでしょうか。
山本課長補佐	調査から抽出した基準値を基に、上を目指そうということから、そのような目標値になっています。
児島委員	目標も大事だと思いますが、調査した結果に注目すべきだと思います。項目によっては前回調査と比較して下がっている場合もあります。その点について対策をしていただけたらと思います。
埜々下委員	介護予防教室を開催したり、パンフレットを配ったりして良いことだと思いますが、体力低下を自覚されている方が自分の都合に合わせて運動をすることが、健康寿命を延ばして介護保険事業の円滑な運営につながると思います。以前、福祉会館にトレーニング設備があったと思います。民間のトレーニング施設はあると思いますが、町ではそういった方が利用できる施設はありますか。
大間知課長	町内には、高齢者福祉に関しては施設や設備はありません。
埜々下委員	公民館で体力維持につながる事業があれば、あえて器具を使った筋力トレーニングは不要だと思います。今後検討できるようであればお願いします。
大間知課長	各地域で行われているサロンや介護予防体操教室の普及啓発に努めていますが、自発的に参加できる設備はそろえていません。今後、何ができるかを検討したいと思います。
宗田委員	8ページの基準値に対する目標がありますが、今回、計画は順調に推移しているということでしょうか。
大間知課長	8ページの基準値に対する目標の増加というのは、あくまでも目標ですので、増加したという結果の報告ではありません。結果としてどうだったかというのは10ページ以降に掲載しています。定めた基準値に対して増加させることが目標という意

発言者	発言内容
宗田委員	<p>味です。</p> <p>資料のタイトルは、「計画の進行管理と評価」となっています。評価の詳細が10ページ以降に掲載されているということでしょうか。</p>
山本課長補佐	<p>8ページは、計画に対する目標や達成の目安となる指標、目標を設定するに当たっての基準値、計画最終年度の目標となります。以上の内容を踏まえながら評価を進め、結果としてどうだったかというのが10ページ以降の内容です。</p>
宗田委員	<p>10ページは、指標ナンバーごとの具体的な評価だということですか。</p>
山本課長補佐	<p>自己評価となりますが、検証した結果です。</p>
宗田委員	<p>総合評価から見ると、C評価が多いように感じますが、どういう評価となるのですか。まあまあできているという評価でしょうか。今回の結果を基に委員が改善すべき点や評価する点の意見を述べるのではないのでしょうか。総合的にどのように見れば良いのでしょうか。</p>
大間知課長	<p>全体の評価については記載がないのですが、一つ一つの目標に対して評価しています。目標に対してそれぞれ4段階での評価をして、例えばCの場合は、目標を下回る実績であったが、達成目標に向かい進捗したという内容となっています。</p>
宗田委員	<p>総括的にコメントがあれば判断しやすいと思います。</p>
森岡委員	<p>良い意見がたくさん出ています。長年、委員として出席していますが、当初と比較して資料も非常に分かりやすくなっています。表に出てこない職員の活動が、目標に対する評価につながっているのではないのでしょうか。もう少し事務局のお話を聞いた上で意見をされたらと思います。</p>
那須会長	<p>私からも提案なのですが、8ページの基準値と10ページの現状は同じだと思いますので、二段書きで基準値の下段に括弧</p>



発言者	発言内容
大間知課長	<p>書きで現状、現状の下段に括弧書きで基準値と記載していただければ、委員の皆さんも戸惑うことはないと思います。それと、数値目標がある項目とない項目がありますが、もしあれば、抜けている目標も提示してもらえれば評価しやすいと思います。もう一点ですが、10ページの課題及び対策に記載のコメントについて、もう少し具体的な表現にさせていただけると分かりやすいと思います。以上について検討いただければと思います。</p> <p>貴重な御意見ありがとうございます。御提案いただいた中で、数値目標について抜けている部分があるとのことですが、全て設定できれば良いのですが、毎年度数値目標が設定されている項目は業務上取得した数値です。そうでない項目については、3年に1度の調査で取得した数値です。この部分を埋めるとなると現状では難しいと思います。御了承ください。</p>
那須会長	<p>そのほかに質問はありませんか。特にないようですので、次に議題3「介護保険事業の円滑な運用について」事務局から説明をお願いします。</p>
山本課長補佐	<p>(介護保険事業の円滑な運営について説明)</p>
那須会長	<p>介護保険事業の円滑な運営についての説明が終わりました。御意見、御質問等ありましたらお願いします。</p>
宗田委員	<p>最近、介護報酬の水増し請求が発覚したというニュースを耳にするのですが、愛南町ではそういったことはありますか。</p>
山本課長補佐	<p>そのような事案は発生していません。防止策の一つとして、定期的に事業所を訪問し、関係書類の確認や聞き取りを行い、法令順守の指導をしています。</p>
宗田委員	<p>愛南町内の介護施設について、入所希望者に対して過不足はありませんか。施設が足りない場合は自宅での介護という形も聞きますので、現状をお聞きします。</p>
山本課長補佐	<p>事業所ごとの待機者数については把握していませんが、一定</p>

発言者	発言内容
<p>埜々下委員</p>	<p>数の待機者数があると聞いています。ただし、以前と比較して待機者数は減少傾向にあるようです。</p> <p>高齢化率が上昇して、更に介護保険給付費が増加していくと思います。介護保険事業を安定的に継続していくために、保険料の見直しもしていかないといけないと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>山本課長補佐</p>	<p>介護給付費は増加傾向にありまして、令和6年度は、介護報酬改定に伴う加算が要因だと思われます。第6期からの保険料額は据え置きとなっておりますが、介護保険事業の安定運営のために、給付費増加分の基金による補填や、第10期以降は介護保険料の増額を検討しなければならないと思います。様々な可能性を検討していきたいと思います。</p>
<p>宗田委員</p>	<p>私は、事前復興計画の委員もしています。介護施設に入所されている方や寝たきりの方がいらっしゃると思うのですが、南海トラフ地震が発生した場合の対応は、高齢者支援課としてどのように考えていますか。</p>
<p>山本課長補佐</p>	<p>防災対策課が主導となりますが、事業所と一体となって災害時の対応について計画を進めています。</p>
<p>宗田委員</p>	<p>重度疾病の方がいる場合は広域連携が必要な避難者になると思いますが、現状は連携が進んでいないと聞いています。特に介護施設ではなかなか難しいのではないかと思います。</p>
<p>山本課長補佐</p>	<p>災害時の対応検討の構成メンバーの中には、保健福祉課や医療機関の方も含まれていますので、持病をお持ちの方に対する対応も検討していると思います。計画内容については、課内で情報共有していきたいと思います。</p>
<p>那須会長</p>	<p>そのほかに質問はありませんか。ないようですので、次に議題4「その他について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>山本課長補佐</p>	<p>(その他について説明)</p>

発言者	発言内容
那須会長	その他についての説明が終わりました。御質問等ありませんか。
森岡委員	目標達成のために、円滑な事業運用が重要だと思います。特に介護人材確保が重要で、一般企業でも大きな課題だと思います。今後、私たちがお世話になる場所となりますので、各種研修の実施について積極的な周知を進めて、課題解決に向けて考えていただきたいです。
那須会長	ほかになれば、本日の議題全般についての御意見、御質問でもかまいません。何かありませんか。
宗田委員	介護保険の認定について、公平性を保つために研修を行うとありますが、認定業務は高齢者支援課が行っているのですか。
大間知課長	介護申請があった方に対して、高齢者支援課の調査員が自宅等にお伺いして聞き取り調査等を行うとともに、医師の意見書と合わせて認定審査会に諮って、認定されるという流れです。
宗田委員	認定審査会委員の任期はどれくらいですか。
大間知課長	2年です。
宗田委員	継続される方もいれば、新たに任命される方もいらっしゃるということですか。
大間知課長	御認識のとおりです。主に専門職の方が中心です。
宗田委員	身内に介護を受けている人がいるのですが、ケアマネジャーが自宅に来て、身体の状態を聞き取り等で確認された後に介護度に変更されたようです。
大間知課長	ケアマネジャーが調査をしているわけではないのですが、現在の身体状況と介護度がマッチしているかを確認する手段で、介護保険の変更申請を行っているのだと思います。認定調査を行っているのはケアマネジャーではありません。

発言者	発言内容
宗田委員	<p>認定審査会はどれくらいの頻度で開催されていますか。認定を依頼する件数がある程度の数になってからの開催ですか。</p>
倉野主幹	<p>現在、月に3回程度です。依頼件数によって開催の有無が変動するわけではありません。</p>
大間知課長	<p>開催回数については正確な数字を持ち合わせていませんが、頻繁に開催しています。</p>
那須会長	<p>その他質問等ありませんか。ないようですので、それでは本日の御意見を答申に反映させていただくとともに、令和6年度介護保険の運営について、概ね良好であると答申してよろしいですか。</p>
全委員	<p>(承認)</p>
那須会長	<p>ありがとうございます。 承認するということですのでよろしく申し上げます。 以上をもちまして、令和6年度介護保険運営協議会を閉会します。皆さんありがとうございました。</p>